

日本豊受自然農・由井寅子代表がYouTubeに!

豊受のCM、全国に

コロナ52分の動画は見もの

農業法人日本豊受自然農は静岡県南と北海道洞爺において行っているが、その活動に目を見張るものがある。農産物販売、農業生産物で自然化粧品、加工品、さらにオーガニックレストランなど幅広く実践している。今度はメディア戦略を立ち上げ、CMも全国に流れることに。さらに進化する日本豊受自然農の動向に注目。

ビル・ゲイツがWindowsを独占するなら、Dorrsならぬ「豊門」というOSの開発を宣言するなど、独創的なアイデアと大胆な行動力に驚かされる。農業法人日本豊受自然農(本社・静岡県函南町)の由井寅子代表。「新型コロナウイルスパンデミック」や「米大統領の不正選挙問題」などのグローバルメディアやマスコミ、SNSの情報統制、嘘の垂れ流しに、「メディアが大切な事実を報道しないのであれば」と昨年からの独自の全国オンライン配信システムを立ち上げ、全国放送を行い、さらに今年に入ってYouTube(本社・静岡県函南町)の由井寅子代表。「YouTube」を立ち上げ、YouTubeとして「アピュー」した。さらに毎週のように新作の豊受CMを農場などで制作。2月には、難病に寄り添う家族を追ったテレビドキュメンタリー番組「おひさま家族」の収録に、一家10年の記録「のスポンサー」として、トヨタ自動車、大成建設などの大企業に混じり、由井代表と豊受自然農のスタッフが畑

クチンは、昨年12月から欧米で接種が本格化しています。通常、ワクチン開発には、安全性の確認も含め最低でも5年以上かかりますが、それを1年に短縮して本当に安全性に問題はないのでしょうか?ワクチンの役割は本来、人を慢性病にさせて、生きる気力を奪い、寿命を早めるためにあります。ところが新型コロナウイルスは、その徐々

に殺すというもろみが失敗し、打ったそばから世界中でバタバタ人が死ぬという状況になっています。ファイザーやモデルナのmRNAワクチン

を打つとほとんどの人が5年以内に死ぬだろうと言っている人もいます。アストラゼネカのベクターワクチンはmRNAワクチン以上に危険なワクチンです。実際の海外での接種の状況など含めてメディアでは報道されない新型コロナウイルスの現状を、YouTubeの寅子先生チャンネルで速報しました。日本でも

2月中旬より医療従事者から接種がスタートし、4月からは高齢者の接種がスタートする予定です。正確な情報開示が不足し不安や憶測が広がっている新型コロナウイルス。自然療法で予防接種の健康被害の臨床研究に20年以上向き合う由井代表独自の見識を織り込んだ52分の動画は見ものである。

クシーズ社からゲノム編集 高ギヤマトマトの苗の無償配布が計画されている。公表して1週間です。3000人以上の応募があったと聞く。もし配布されたゲノム編集トマトがナス科の様々な植物と交配してしまった場合、生態系に取り返しのつかないダメージを与えるリスクが高い。というのも

健康被害が起こるかも未知数。成長抑制の遺伝子をゲノム編集で破壊した鯛が最先端テクノロジーとしてはやされている。養殖業者は儲かるかもしれないが、人間都合で遺伝子をいじったお魚は果たして食べても安全なのか? 特に懸念されるのは4月から国内企業サナテック

ゲノム編集にモノ申す

EU、厳しい規制がある

この他にも由井代表は、YouTubeとして1月の農水省「改正種苗法」説明会で自然農の農家の立場からの意見を公開したり、秋の国会でも争点になった種苗法改正の問題点を一般の方にもわかりやすく背景を含め

「5Gと健康問題」加藤やすこをゲストに全国オンライン勉強会企画「いのち環境ネットワーク」代表で長年、電磁波過敏症の問題に取り組んでこられた加藤やすこ先生と寅子先生を講師に勉強会が開催される。電磁波問題での日本の対応は大変遅れており、将来大きな健康被害が顕在化することが危惧されている。

ゲノム編集技術の性質上、遺伝子の欠落した異常な遺伝子が100%の子孫に受け継がれてしまうから。また1ヶ所遺伝子配列が変更されると、何百箇所もの遺伝子配列に影響が及ぶとも言われる。果たしてこのような不自然に遺伝子操作をした食べ物を食べても安全なのだろうか。EUなど

5G問題、解決策検討

5Gと健康問題勉強会 条例制定の動き活発

「5Gと健康問題」加藤やすこをゲストに全国オンライン勉強会企画「いのち環境ネットワーク」代表で長年、電磁波過敏症の問題に取り組んでこられた加藤やすこ先生と寅子先生を講師に勉強会が開催される。電磁波問題での日本の対応は大変遅れており、将来大きな健康被害が顕在化することが危惧されている。

「5Gと健康問題勉強会」1)5Gのしくみ、ミリ波の影響 2)日本の規制値の高さと、規制を厳しくする国 3)海外の研究で報告されている。日本でも各地の住民運動や地域での条例制定の動きが活発になっている。寅子先生も5Gの問題での解決策も検討しているという。楽しみである。

「5Gと健康問題」加藤やすこをゲストに全国オンライン勉強会企画「いのち環境ネットワーク」代表で長年、電磁波過敏症の問題に取り組んでこられた加藤やすこ先生と寅子先生を講師に勉強会が開催される。電磁波問題での日本の対応は大変遅れており、将来大きな健康被害が顕在化することが危惧されている。

「5Gと健康問題勉強会」1)5Gのしくみ、ミリ波の影響 2)日本の規制値の高さと、規制を厳しくする国 3)海外の研究で報告されている。日本でも各地の住民運動や地域での条例制定の動きが活発になっている。寅子先生も5Gの問題での解決策も検討しているという。楽しみである。

「5Gと健康問題勉強会」1)5Gのしくみ、ミリ波の影響 2)日本の規制値の高さと、規制を厳しくする国 3)海外の研究で報告されている。日本でも各地の住民運動や地域での条例制定の動きが活発になっている。寅子先生も5Gの問題での解決策も検討しているという。楽しみである。

農業は国を救い、国民を救う

2月27日 全国配信イベント開催

由井代表が東日本大震災の被災地を回った際に、真の日本の復興は自然農からの六次産業化しかないと感じたという。以来毎年開催しているシンポジウムも11回目を迎える。新型コロナウイルスの緊急事態宣言を逆手

に、オンライン配信で開催、会場使用料がからなくなつたため、参加費無料での開催を決定。これで千人規模の方の参加が可能になった。

「経済」を取り戻すために「をテーマに基調講演。一部の人が富が集中する現在に至る経済から、努力すれば皆が幸せになれる、農林水産業を土台とした自給自足の【経済】のビジョンを講

「日本豊受自然農」畑からの恵み。は、難病に寄り添う家族を追ったテレビドキュメンタリー番組「おひさま家族」の収録に、一家10年の記録「のスポンサー」として、トヨタ自動車、大成建設などの大企業に混じり、由井代表と豊受自然農のスタッフが畑

「5Gと健康問題」加藤やすこをゲストに全国オンライン勉強会企画「いのち環境ネットワーク」代表で長年、電磁波過敏症の問題に取り組んでこられた加藤やすこ先生と寅子先生を講師に勉強会が開催される。電磁波問題での日本の対応は大変遅れており、将来大きな健康被害が顕在化することが危惧されている。

「5Gと健康問題勉強会」1)5Gのしくみ、ミリ波の影響 2)日本の規制値の高さと、規制を厳しくする国 3)海外の研究で報告されている。日本でも各地の住民運動や地域での条例制定の動きが活発になっている。寅子先生も5Gの問題での解決策も検討しているという。楽しみである。



日本豊受自然農 畑からの恵み

2月27日(土)10:00~17:30 第11回 日本の農林業と食を考えるシンポジウム 農業は、国を救い、国民を救う!

https://toyouke.com/tokyo2021/

来賓発表では伊勢神宮の御神木を伐る(そま)である南木曾木材産業社長の柴原薫代表は、「日本の林業の現状と出口戦略」を講演する。 パネルディスカッションには種苗法改正・衆院農水委で参考人質疑を行った印論 智哉さんが登壇。日本の食の安全と農業を守る為の解決策を参加者の皆さんと一緒に模索する。